

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス GreenWood			
○保護者評価実施期間	2026年 1月 21日		～	2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数)	32
○従業者評価実施期間	2026年 2月 2日		～	2026年 2月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 20日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	自然豊かな環境を最大限に活かし、利用者一人一人が安心して自分らしくのびのびと参加できる活動を展開している。四季折々の年中行事を大切にしながら、自然素材を取り入れた多彩なプログラムを実施し、心と感性を育む豊かな体験の機会を提供している。	自然を活用した活動であるからこそ、事前に十分な安全計画を策定し、保護者の皆さまへ丁寧に周知している。安心してご参加いただけるようご理解とご協力をお願いし、安全に十分配慮した運営に努めている。	法人内他事業において職員研修を重ね、更なる活動内容の充実を図る。また、救命講習及び応急手当講習などの充実も進め、十分な安全対策と職員の資質向上を目指す。
2	「保護者と共に利用者を見守る」という思いをベースに、保護者が安心して相談できる関係づくりを大切にしている。サービス提供記録や連絡帳で利用児の詳細な様子を共有し、同じ方向を向いて支援していけるよう努めている。	信頼関係構築のため、日常的に利用者の発達状況や活動中の姿などを提供記録にて事細かに伝えている。学校とも連携を取り、学校での様子や支援内容を共有したり、オープンスクール等学校行事に積極的に参加することで直接子どもの様子を確認したりしている。また、定期的な面談の設定や、必要に応じて対面、オンライン、連絡帳、連絡ツール等を使用し、いつでも保護者と職員が意思疎通できる環境をつくっている。	利用人数の少ない学校とも連携を強化していきたい。
3	虐待防止対策はもちろん、利用者の人権を守る事に職員一人一人が意識を向け、障害の有無に関わらずその人の育ちを暖かく見守ることができている。	利用者の精神的・身体的変化が生じた際には、保護者への説明と聞き取りを十分に行い、職員間での情報共有を日常的に行っている。個々の成長に合わせた対応を行っている。	既存の事業所内(法人内)研修だけでなく、外部研修への参加も継続し、人権意識の向上を図る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の機会が少ない。	今年度より参観日に力を入れ、参観後には保護者同士の交流会を設けている。ご参加いただいた保護者からは好評を得ているが、一方で、当日の参加人数が少なく、より多くの方とお話ししてみたいというご意見もいただいた。利用日における参観後の交流会は、平日の午後開催となるため保護者の就労時間と重なり参加しづらい時間帯となっている。	参観後の交流会は日頃の様子を踏まえた具体的な相談や情報交換ができ、保護者の不安軽減や支え合いの関係づくりに役立つ。よってこの取り組みは継続しつつ、別途保護者同士の交流会を長期休業中や土曜日に設け、利用日問わずGreenWoodを利用する全ての保護者様が一堂に会することのできる機会を検討していきたい。
2	建物や設備の老朽化により、故障箇所がいくつか見られる。また、バリアフリー機能はない。	「不便の中で生まれるまなび」から、考え工夫する力を身に付けてほしいという法人の考えにより、あえて丁寧に扱わないといけない物や形を設定している部分がある。	老朽化している箇所は早急に修理する。安全に活動できる環境を整えた上で、利用者一人一人に合わせた環境設定を場面に応じて工夫する。
3	就学前の通所施設(児童発達支援、認定こども園、保育所、幼稚園等)や地域の児童センター等との連携が図れていない。	連携に関して、在学中の学校や他事業所との連携を優先するため、利用者の過去の利用状況を知る機会がない。	現在の発達状況及び今後の目標設定、支援計画作成のため、相談支援事業所との連携を中心に進めていきたい。必要となった場合には連携を図りたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	GreenWood	公表日	2026年 2月 20日		
		利用 児童数	39 (家庭数 35)	回収数	32 (91%)

	チェック項目	はい	どちら とも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	29	1		2		
	2	23	3		6		
	3	28	3		1	バリアフリーではないですが、いいトレーニングなのでこれでいいです。	ご意見ありがとうございます。「不便の中で生まれる学び」から、考え工夫する力を身に付けてほしいという法人の考えにより、手を付けず残している場所や丁寧に扱わないといけない物を設定している部分があります。危険箇所は対応しつつ、成長できる環境を今後も整えて参ります。
	4	29	2		1		
適切 な支 援の 提 供	5	30	2				
	6	29	1		2		
	7	31	1				
	8	28	1		3		
	9	31	1				
	10	31			1	子どものことを考えてくださり、プログラムが増え、いろいろ工夫されていてありがたい変化だなと思います。	ご意見ありがとうございます。今年度は家族と離れて自立を促す宿泊を伴う活動や火起こし・野外炊飯など生きる力にも繋がるプログラムも実施しました。子どもたちのため、多様な体験活動の機会を今後も提供して参ります。
	11	12	3	6	11	いろいろな学校の子どもが来ているので必要性は感じていません。	「交流会」という行事は実施していませんが、公園や公共施設など地域の場で過ごす中で子ども同士が関わる機会があります。今後は目的を整理し、より良い交流の在り方を検討いたします。
12	31	1					
13	31				1		
14	18	2			12		参観行事は実施していますが、今後は周知を広げ、より多くの方に来てもらえる機会づくりを進めて参ります。
15	31	1				連絡張で詳しく書いていただき、その日の様子が目に浮かぶよう分かります。クスリと笑える温かい報告が毎回楽しみです。	ご意見ありがとうございます。今後もお子さまの様子を丁寧にお伝えし、情報共有を密に行いながら、より一層の共通理解につなげてまいります。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	31	1				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	31	1			楽しみに通っているのが何よりの証拠です。 ご意見ありがとうございます。今後も継続して参ります。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	4	3	12	参観日、きょうだいも参加させていただきありがとうございます。法人の様々なイベントがあり、兄弟共にいろいろな方に支えていただいています。	ご意見ありがとうございます。今年度は参観日と保護者様同士の交流会を開催させていただきました。来年度も継続して参ります。また、イベント等に関しましては法人内でキャンプ事業などを行っております。積極的に案内してまいりますのでぜひご参加ください。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29			3		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	31	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	31			1	インスタでの紹介が楽しそうです。連絡がアプリになりいつでもできる反面、うっかり忘れていくことが多くて申し訳ないです。	ご意見ありがとうございます。ご家庭での様子も共有していただくことでより現状に沿った支援を行うことに繋がっております。お時間のありますときで大丈夫ですので、他の保護者の皆様もぜひHUGの連絡機能から最近の様子をお聞かせください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	31	1				
	非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	29			3	
24		事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	31			1		GreenWoodでは毎学期地震避難訓練、火災訓練、不審者対応訓練を行っております。利用者様それぞれの特性を考えながら様々な状況を想定し、対応していけるよう今後も継続して参ります。
25		事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	32					
26		事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	30			2		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	32				家では見れない様子をいつも細かく記録にしてください。記録を読むのが毎回とても楽しみです。	ご意見ありがとうございます。今後も子どもたち、そして保護者の皆様が安心して楽しく利用でき、ご満足いく支援を提供させていただけるよう、職員一同精進して参ります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	29	1		2	充実したプログラムでお出かけも増え、ありがたく通わせていただいています。キャンプも貴重で嬉しく思います。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	31	1			支援員の方が温かい雰囲気の中で安心して通わせられます。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		GreenWood			公表日	2026年 2月 20日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		室内でも十分活動できているが、設置基準を満たした室内、庭だけでなく、近隣の広場、公共施設などの社会資源を十分活用し、のびのびと活動できるスペースの確保に努めている。	クールダウンができる個別の空間としては現在和室を閉めて利用しているが、遊ぶ部屋とは別に固定のクールダウンできる空間を用意したい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		今の子どもたち、今の職員の中で適切に対応できている。	バランスがとれていると感じるが、更に手厚い療育を実施するため、活動内容やその日の利用者の状況に応じて人員を増やすことを検討する。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		明確な部屋は決まっていないが、使い分けはできている。日々検討を重ね、時に環境設定を変更しながら、定着に向けて努めている。	環境維持に努める。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		必要に応じて変化できている。	清潔な空間を維持するため、定期的な清掃を継続する。建物の老朽化に伴い、衛生管理はさらに課題感を感じる。適宜修繕を行いながら環境維持に努める。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		部屋ごとに仕切りがある。明確な用途を伝えてくれればいつでも使用できるようにしている。	それぞれの利用者の状況に合わせてスペースを確保しているが、更に踏み込んだ個別対応ができるスペースは作るべきだと感じる。部屋を区切って設けていきたい。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		特に常勤職員に関しては、各自、半期ごとに目標設定を行い法人本部における評価制度を導入している。更なる資質向上に努めたい。	意見交換は盛んであるが振り返りに要する時間はもう少し確保したい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年に一度無記名によるアンケート調査を実施し、業務改善に努めている。	職員一人一人が自身の業務について振り返るきっかけとなった。会議において取りまとめを行い、改善点を検討することができた。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		法人本部及び施設責任者などとの1on1ミーティングや職員研修を定期的に行い、業務内容だけでなく、事業所全体の在り方などにも意識を向けられる機会を設けている。	今後も継続していく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	—	導入を検討している。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		事業所内、法人内での合同研修等に参加している。また、その他研修案内は毎回回覧して周知している。	研修の機会は確保しているが、さらに今後も充実させていきたい。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		本事業所だからこそできる支援プログラムを作成し、ホームページにて公表している。フォーマットや記載内容について定期的に見直しや改善を行う努力をしている。	今後も継続していく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		利用者本人や保護者、学校等からも聞き取りをし、個々の思いやニーズを大切にして放課後等デイサービス計画（個別支援計画）を作成している。	今後も継続していく。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		定期的に支援会議を開き、必要に応じてアセスメントを見発管だけでなく担当職員も同席して行っている。	今後も継続していく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		作成後の計画書は必ず全職員で共有し、支援できるようにしている。	今後も継続していく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々の支援記録や連絡帳等から確認している。	チェックリストや評価表のフォーマットや活用方法の改善を検討したい。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	GreenWood				公表日	2026年 2月 20日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		各項目に合わせて支援内容を設定している。	今後も継続していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		担当の職員が立案し、複数の職員で案をもとに検討を行っている。	今後も継続していく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		制作・クッキング・外遊びなどを季節に合わせて毎月内容を変えて取り組んでいる。	今後も継続していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別及び集団の支援を通して社会性が学べるよう、利用者の状況や特性に応じた計画書の作成に努めている。	今後も継続していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		打ち合わせのほか、連絡ツールを活用し適宜情報共有を行っている。その際、個人情報に十分配慮を行っている。	今後も継続していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		打合せ時にいない職員もいつでも確認ができるように、掲示板や連絡ツールも活用している。	今後も継続していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援終了後毎日記録として様子を書き出し、支援が上手くいっているか、以前と変化があったかなどについて職員間で話し合っている。	記録のフォーマットや記載内容については、適宜改善していきたい。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に一度モニタリングを実施し、見直しを行っている。	引き続き適切に行っていきたい。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		活動の中に「4つの基本活動」を組み合わせ、支援を行っている。4つのうち「地域交流の活動」に関しては地域の公園での活動で地元子どもたちと交流している。	今後も継続していく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		自分のしたいことができるように自由時間や制作ができる部屋、ごっこ遊びができる部屋等それぞれ確保している。	今後も継続していく。
関係機	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		基本的に児発管が参画しているが、必要に応じて、相談支援事業所のモニタリング対応や地域学校行事への参観は現場の指導員が参加することも多い。	今後も継続していく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて連携を行えるよう体制を整えている。	今後も継続していく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		特に利用人数の多い学校とは細かく連絡を取ることができていると感じる。オープンスクール等の行事にも参加し、学校での様子を知ることができた。必要に応じて情報共有や連絡調整を行っている。	行事への参加は増やしていきたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		児童発達支援事業所を継続利用している利用者については、連携の機会を持っている。認定こども園、幼稚園、保育所は情報共有ができていない。	連携できていない機関については、必要に応じて今後検討していく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	GreenWood				公表日	2026年 2月 20日
関 連 者 と の 連 携	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	—		今年度は移行対象の利用者がいない。今後は移行に関する支援を充実させていきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○	—	その機会をつくり、システムを充実させていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	○	公共施設や近隣の公的スペースでの活動の際に、自然に交流できる関わりをつくっている。	今後も継続していく。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	○		参加している。次年度実施の自立支援協議会主催のイベントへの参画が決定している。	今後も継続していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時および連絡帳、連絡ツール利用し、コミュニケーションをとるよう努めている。	送迎人数が多いため自宅送迎時に話す時間は減っているが、その分連絡帳にて一日の様子を詳細に伝えるよう努めている。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		—	参観日や保護者交流会の実施を行っている。周知と保護者の参加しやすい工夫をしていきたい。	
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に詳しい説明を行い、必要に応じてその都度説明を行っている。	今後も継続していく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		定期的に行う保護者面談において、支援内容だけでなく、保護者の意向や願い等の聞き取りを行っている。	今後も継続していく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		事業所が作成した支援計画書を提示し、保護者同意の元、支援を実施している。	今後も継続していく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的な保護者面談以外に、要望があれば自宅訪問やオンラインなどでも相談を受けられる体制を整え、実施している。	今後も継続していく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催することにより、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		—	茶話会などの交流の機会は作っているが、周知と参加しやすい工夫には至っていない。今後検討していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		法人本部と連携し、すぐに対応できる体制を整えている。	今後も継続していく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		日常的にHP、SNSを使った情報発信を行っている。また、連絡帳を活用し、利用者の様子や支援内容について伝達を行っている。	今後も継続していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		法人規定に基づき、細心の注意を払い厳重に管理している。	今後も継続していく。
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		利用者及び保護者とのコミュニケーションを大切にし、日常的に情報伝達だけでなく、思いや考えを伝え合える関係づくりに努めている。	今後も継続していく。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	GreenWood				公表日	2026年 2月 20日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	—	戸外活動中に出会う地域の方との交流は、継続して行う。地域を巻き込んだ行事は実施していないので今後ぜひ検討していきたい。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		年間を通じて、火災、地震、不審者対応に関する避難訓練を実施している。職員間での意識共有、利用者や保護者への対応の周知を行っている。	既存のマニュアルの順守はもちろん、環境や状況に合わせて年度ごとに見直しも行っていきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		大災害を想定した訓練を行い、避難経路の確保、連絡方法の周知など、定期的に見直しを行っている。	今後も継続していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時のアセスメントおよび、定期的な面談の際に保護者に確認し、職員間で共有している。	今後も継続していく。
	49	食物アレルギーのあることについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約時のアセスメントおよび、定期的な面談の際に保護者に確認し、職員間で共有している。特に調理実習やおやつ作りの際には直前に確認している。	今後も継続していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		職員に防火管理講習受講者を置き、正しい知識の元、安全計画の作成及び安全管理に努めている。また、定期的に職員研修を実施している。	安全計画は、環境や状況に合わせて今後も年度ごとに見直しを行ってきたい。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		年間を通じて、火災、地震、不審者対応に関する避難訓練を実施している。職員間での意識共有、利用者や保護者への対応の周知を行っている。	今後も継続していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		定期的に事故防止に関する会議を開催し、事例の共有と対策を話し合っている。また、再発防止策を出し合い、安全に関する意識の向上に努めている。	今後も継続していく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的に職員研修を実施している。虐待に特化した内容にとどまらず、職員の人権意識の向上に努めている。また、法人のコンプライアンス規定と併せ、職員の意識の向上を図っている。	今後も継続していく。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		虐待防止研修と併せて定期的に職員研修を行っている。保護者へは契約時に説明を行っている。	今後も継続していく。	